

# ものづくり最前線！！

2016年12月号

## 【今月のごあいさつ】

11月19日（土）に、東京ビックサイトで開催された「JIMTOF2016」に、私達(有)パール金属のメンバーも行ってきました。到着して朝一番からビックリ！とにかく人、人、人のすごい人。6日間の開催中、私達が行った日は来場者数49,298人と開催中一番人が多い日でした。そんな中での見どころは、工作機械などあらゆるモノがインターネットにつながるIoTや、3Dプリンター、進化した自動化技術など、未来のモノづくりのあり方を予感させる展示でした。最新の技術・機械とは対照的に、日本のモノづくり原点というべき手作業の体験ができる企画展示も開かれていました。匠の技と、最新技術の融合に日本のモノづくりの新しい未来を感じさせられる展示会でした。



〈JIMTOF2016の会場入口にて〉

## 【ものづくりトピックス】

### 自動運転

2020年の東京オリンピックの目玉は自動運転になるかもしれない。都内を走る無人タクシー、無人自家用車が訪日外国人を驚かさず可能性がある。今では、既存自動車メーカーのほかにGoogleやAppleなどのIT企業が自動運転市場に参入している。「日経ビジネス」の予測によれば、2025年には準自動運転が12.4%、完全自動運転は0.5%程度と見積もっている。しかしその10年後にはそれぞれ15.0%、9.8%になると予測。つまり20年後には4台に1台が自動運転の車になるという。その後も比率は高まりつづけ、やがて人間が運転する車のほうが珍しくなる可能性もある。アウディ、BMW、ダイムラーなどのドイツ勢が先行している自動運転への取り組みだが、テスラやGoogleなどのアメリカ勢も牙をむいている。トヨタ、日産、ホンダなど日本勢も決して技術力で劣っているわけではない。今後の技術革新がたのしみだ。



## 【会社案内】

### 有限会社パール金属

所在地：名古屋市中区大須 4-15-34

電話：052-251-0753 / FAX：052-241-1620

事業内容：機械工具・工作機械・工場用設備用品、  
産業機器などの卸販売

分電盤・配電盤用のオリジナル钣金部品の販売、  
環境設備商品の卸販売

企業理念：「豊かさの創造」

1. 顧客・取引先・関わるすべての人々に、豊かさ  
と安心をもたらせる、輝く企業を目指します。
2. 共に働く人々が、誇りや、やりがいを持ち続け、  
心豊かになれる企業を目指します。

お問合せ：[info@pro-kogu.com](mailto:info@pro-kogu.com)

社長木村：090-2928-3231（お客様相談窓口：堀口）



## 【上前津ウォーカー】

### ♪ガーデンキッチンフラリエ♪

12月、1月は忘年会・新年会シーズン！ということで、上前津でおススメのお店をご紹介します♪  
今回ご紹介するお店は、上前津駅1番出口から北へ5分程歩いた所にある「ガーデンキッチンフラリエ」です。久屋大通庭園フラリエ内(旧ランの館)にあります。コチラの一押しメニューは、「ぼかぼか鍋」です。人数に合わせて、生姜豆乳スープ、塩麴スープ、トリュフスープ、台湾スープ、トマトスープ、トムヤンクンスープの6種類から選べる事ができ、具材も盛りだくさん♪  
(ぼかぼか鍋：フリードリンク付、2時間¥4000円～)

【住所】

名古屋市中区大須

4-4-1

久屋大通庭園フラリエ内



〈ガーデンキッチンフラリエ MAP〉

## 【今月の売れ筋商品】

## サバイバルバッテリー

今月のイチオシ商品は、サバイバルバッテリーです。

コンパクトサイズで持ちやすく、収納にも場所をとりません。USBポートがついているので、スマートフォンなどの充電にも便利です。さらにLEDライトも付いており、暗い所でも明るく作業が行えます。充電には、家庭用のACアダプターと、車のDCアダプターでの充電が可能です。

そしてこちらの商品、エンジンスターターとしても使えるんです！！このサバイバルバッテリーを車内に1台積んでおけば、突然のバッテリー上がりでも安心。再スタートが一人で簡単にできますよ。

長距離運転をされる方、毎日車を運転される方、アウトドアが好きな方は必見の商品です！！



<Survival Battery>

## 【今月のビジネスコラム】

「社長は作家になろう」 (有)がんばれ社長：武沢信行氏



<夏目漱石>

物語を描き、語り、影響を与え、行動を促す。それをビジネスで行うのが経営者なら、文芸でやるのが作家だ。良い経営者と作家を目指す事は同じ努力の上にある。ドラッカーはこう言っている。経営管理者になるには二つの勉強が必要だ。一つは管理者になる前に身につける事が出来るもの。もう一つは、管理者の経験があって初めて学ぶ事が出来るもの。『現代の経営』より

経営計画書と小説を作る技術は似ている。いかに思いを適切に文章化出来るかが問われる。最初は下手という点も似ている。上達する為には、書き続ける事だ。批評を浴び、改善する事。妥協せず挑戦すれば必ず上達する。北斎の言う「神妙の域に達する」ことも可能になるだろう。経営者と作家、異なる点をあげるなら、作家は一人で成果を上げるものだが、経営は人を使って成果をあげるものである。だが、経営計画書のレベルを神妙の域に達するところまでは社長一人でやれる。思いを適切に表現する言葉と技術を学ぼう。

## 【歴史に学ぶ生き様】

## 松下幸之助(パナソニック創業者)



<松下幸之助>

もし幸之助が、ぜんざい屋をやっていたら“経営の神様”と言われていただろうか？大阪電灯に入社後すぐ肺尖を患ったが、ある時「殺すなら殺せ」と開き直ったら心が安定して病気の進行も止まった。それから独立を決意。病気で休んでも家内が手伝ってくれる商売が良いと「ぜんざい屋をやろう」と妻に相談。のちの幸之助からは想像できないが、後先のことをあまり考えない性格だった。「電灯会社でこのまま働くのは無理と思う。そやから商売をする」と幸之助。しかし女房は強い言葉で反対した。もしこのとき妻が折れていたら今の『パナソニック』はない。ぜんざい屋のプランは頓挫した。そこで以前に勤務先の大阪電灯に提出した新型ソケット案が忘れられない幸之助は、意を決した。「会社を辞めて、ソケットや電気器具を製造しよう。万一だめなら会社に戻って、生涯忠実な従業員として働こう」。そして松下電器、パナソニックグループの歴史が始まった。もしあ

のとき妻が「ぜんざい屋」に賛同していたら…。

## 【社員の声】

## 近藤三奈(2011年入社)

昨年の11月会社の研修・慰安旅行(1泊2日)に行きました。1日目はビックサイトで開催されたJIMTOF2016へ、2日目は横浜観光をしました。

JIMTOFに行くのは今年で3回目ですが、毎回人の多さには圧倒されます。JIMTOF見学後の夜は、横浜中華外で中華料理を堪能。とても美味しかったです。

2日目の横浜観光では、大自然を全身で感じる事ができるオービィ横浜や赤レンガ倉庫に行ってきました。どちらも楽しく、あっという間に1日が終わってしまいました。来年、どこに行くのか楽しみです♪

これからも毎月お客様に楽しんでいただける月刊誌をつくっていきますので、宜しくお願いします！！  
お問い合わせは、

[kondo@pro-kogu.com](mailto:kondo@pro-kogu.com) まで！！



<オービィ横浜にて>